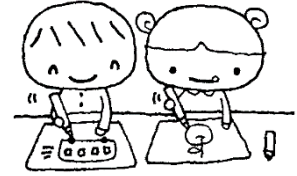


おひさま



令和5年3月14日

<3月の満3歳星4組さん>

○自分のことは自分でできるよ

靴を履くのも、上靴をぬいだり履いたりするのも、トイレに行くのも、手を洗うのも、ぶくぶくうがいをするのも、自分のことは自分でできるようになりました。上着をしまうのは、練習中のお友だちもいますが。みんな頑張りました。大きくなりました。

満3歳のお友だちが、3月で13人になりました。一つのクラスとして、落ち着いて、立派に集団生活ができるようになりました。

<3月年少星組さん>

○月の制作でおひなさまを作ったよ

おひなさまを折り紙で折って、おひなさまの顔や背景をクレパスで描きました。「金の屏風」や「ぼんぼり」を描きましたが、子どもたちは「あかりをつけましょ ぼんぼりに」「金の屏風にうつるひを」と歌いながら、お友だちと楽しく描くことができました。一年の成長を感じる穏やかな時間でした。

○三人姉妹に5人家族

朝、お部屋で歌うと大きな声が出ませんでした。ひなあられの話をする、本番のホールでは大きな声で、元気よく歌うことができました。とても上手だったです。ホールで担当の先生から、おひなさまのお話を聞いたので、教室に戻ってから、雛飾りの確認をしてみました。「三人官女」のことを「三人姉妹」「5人囃子」のことを「五人家族」と言っているお友だちがいました。かわいい、なるほど、と思ってしまう。

先日、子どもたちの背が、すーと高くなっているのに気づきました。1年の成長は大きいです。こんな子どもたちとの1日1日が成長につながっているのだなあと思います。

<3月の年中花組さん>

○なぞなぞ大会をしたよ

ことばのあそびで、なぞなぞ大会をやりました。なぞなぞを出すと、さっとたくさん手が上がって、答えることができました。中には、さされたとたん忘れてしまうお友だちもいるので、そういう時は「忘れました。と言えればいい

んだよ。」と伝えながら進めました。クラスのみんなで力を合わせて、全部で15問、答えることができて、大喜びの子どもたちでした。最後に「知ってるなぞなぞがある人や、自分でなぞなぞを考えた人は、先生の所に言ってきてね。」と言って終わると、何人かのお友だちが「こんななぞなぞ考えた。」「こんななぞなぞ知ってるよ。」と教えてくれて、大感激でした。成長しています。

○お別れ会が出来たよ

年中さんは、お別れ会の招待状を作ったり、お別れ会の司会をしたり、みんなでお別れの言葉を言ったり、歌のプレゼントやお花のプレゼンをしたりと中心になって活動しました。当日もドキドキの子どもたちでしたが、ありがたいの気持ちを込めて歌や別れの言葉をいうことが、できました。もちろん、司会のお友だとも、上手にできました。園長先生からもほめていただいてよかったね。

いっぱい身体を動かし、いっぱい頭を働かせ、体も心も頭も大きく成長した花組さんです。雪組さんへのあこがれを持ちながら、進級します。4月にすてきな雪組さんになって園で会えるのが楽しみです。

<3月の年長雪組さん>

○幼稚園の楽しかったことは

文集「思い出」に「楽しかったことは？」という欄があったら「けいどろで遊んだこと」「一泊保育」などと書いていました。「宝物は？」という質問には「宝箱」「友だち」「幼稚園」などと自分で字を考えて上手に書いていました。

○お別れ遠足

楽しく行って来れました。はじめ、プラネタリウムは「こわい。」と不安そうでしたが、「夕焼け小焼け」や「キラキラ星」の歌を歌い終わって、空一面に星が見えると「すごーい。」と集中していました。金星木星の大接近の話、オリオン座、冬の大三角形、太陽系、銀河等々、壮大な内容のプラネタリウムでした。「先生、オリオンは獵師だから、動物をやっつけるんだよ。さそりには、弱いけど。」と自分の知っていることを、教えてくれるお友だちもいました。後、大きな望遠鏡を覗かせてもらったり、まっくら遊園地で遊んだりして、とても楽しかったです。帰りに子どもたちに「何が一番楽しかった？」と聞くと「遊具」という意見が多かったです。外にある大きな遊具で思いっきり遊んだのが、やっぱり、一番楽しかったんですね。

ひな祭りの音楽会がありました。みんなの心が一つになった歌声も、歌うときの態度もとても素晴らしく、年長さんの成長を感じました。何か困った時、悲しくなった時、とっても嬉しいことがあった時、いつでも上島幼稚園を訪ねてきてください。私たちは、いつでも待っています。お友だち、おかあさん、おとうさんを、いつでも応援しています。